

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(

株式会社 武田組

)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、公正公平な仕組みを構築し代表が積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に定めている。 ・社員の子育て応援宣言に登録している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・労働基準法等の改正内容を代表を含め役員及び全社員と共有し、36協定の遵守を徹底している。								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・現在外国人労働者はいないが、雇用に備え各セミナーに参加している。					4.4			8.7 8.8		10.2 10.3								
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・毎月、全体安全朝会にて全社員参加のもと、安全衛生について指導及び注意喚起をしている。 ・社内安全衛生バトロールを実施し、各現場での安全意識の向上に努めている				3				8										
6	労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・定期健康診断の結果をもとに、保健指導員による個別指導及びメンタルヘルスを受けている。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・女性が現場でも活躍できる環境を整えている。・65歳を定年としているが、以降も働ける環境を整えている。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・技術者及び技能者が必要な資格取得の推進(会社負担)。 ・外部機関セミナーへの参加によるCPDS・CPDの取得の推進。			4	5.5			8	9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・同一労働同一賃金等の原則を遵守している。				5.5			8.5		10.2 10.3									
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			成人病予防検診だけでなく、人間ドックの受診を奨励している。また体を動かすなどの取り組みも促している。			3					8										
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・産業廃棄物収集運搬許可を所得している。 ・廃棄物の分別の徹底と排出種類及び排出量の管理を毎月実施している。											11.6	12		14.1				
12	環境	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			・エコアクション21に基づき、自社のエネルギー使用量、温室ガス排出量を把握している。							7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・エコアクション21に基づき、使用量及び排出量の削減を実施している。 ・グリーン電力の購入を推進している。					7.2 7.3				###	13.3								
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			・エコアクション21に基づき、使用量の抑制及び適切な使用、管理をしている。(SDS安全シートの確認)			3.9		6.3					11.6	12.4							

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) ([非該当]を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・生物多様性への依存と影響について学び理解している。 ・環境に配慮した製品の使用をおこなっている。								6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・グリーン製品の購入の推進をしている。 ・現場で不要資材が無いように計画を立て実施している。												13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・エコアクション21に基づき、使用量の把握と削減につとめている。							6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)			・エコアクション21を取得している。					3.9		6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			・エコアクション21に基づき、HPにて環境レポートを開示する。													12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・グリーン電力の購入を推進、実施している。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・現場使用機械等を省エネ型の最新型のものを使用している。 ・グリーン購入の推進に取り組んでいる。												12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・汚職、贈収賄について学び、禁止する旨を全社員に伝えている。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・不正競争行為の禁止の徹底をしている。 ・建設業法、独禁法に則り業務を遂行している																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・知的財産の保護の重要性について学び、保護に取り組んでいる。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・社員のマイナンバーについて、規定を定め管理している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			・自社で使用する材料や製品の原材料はサプライチェーンを把握している。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			・取引先との対話や得られる情報を通して人権侵害防止や倫理面での適切な対応に取り組んでいる。					5		8	10	12	13	14	15	16	17				
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)	【予定】		・3年以内に作成・公表できるようにする。			3					8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【産業イノベーション・ダイバーシティ経営】 ・公共における土木工事業のICT化を通して、作業効率の向上と質の高い管理、多様な人材の活用を推進し取り組んでいく。		・ICT化を推進し各現場で利用を検討する。作業効率、品質の向上に努める。 また、ICT化により多様な人材の登用にも取り組む。				5						11		13					

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバансカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定